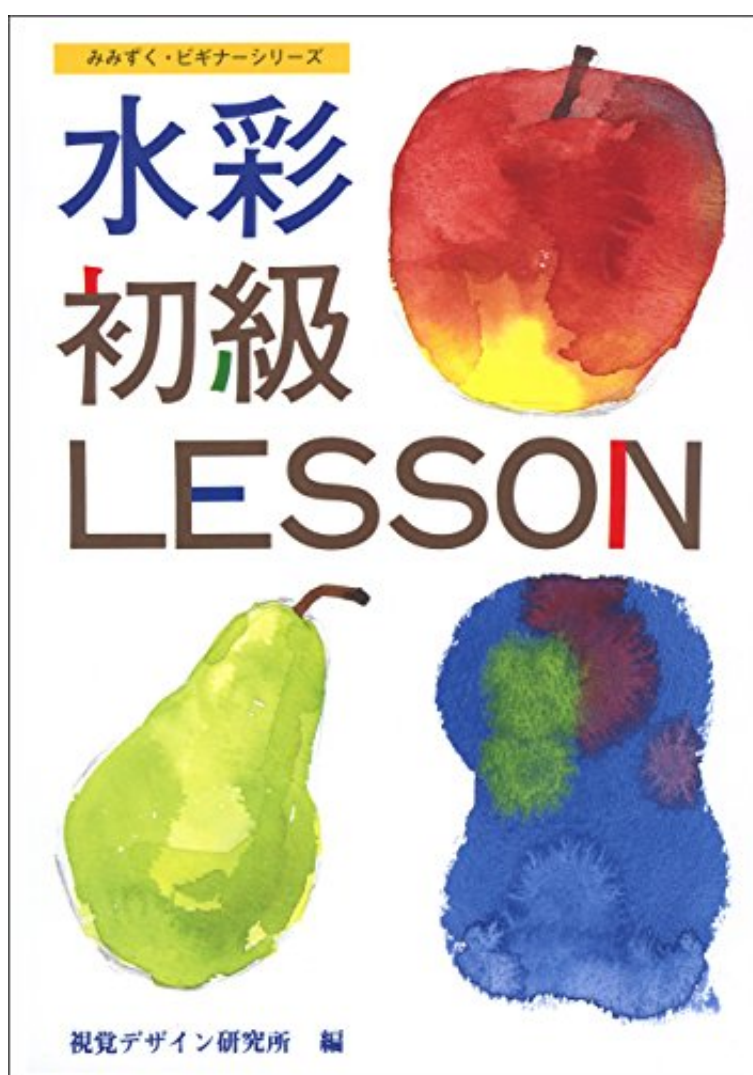


水彩初級レッスン みみずく ビギナー シリーズ (Japanese Edition)

by
Robert Elms



DOWNLOAD E-BOOK

Synopsis

初めて水彩画を描く人の入門書この本は、初めて水彩絵の具を持とうとする人や、描きはじめてばかりの人のために編集しました。水彩の基本を、思い切り簡潔にわかりやすく図説しました。水彩の初歩からひとつひとつをしっかりとマスターできるように解説しています。また、中級者にとっても、もう一度基本から見直すためのチェックリストになります。疑問にわかりやすく答えるどんな色をそろえればいいのか、紙はケント紙でもいいのか、等の描きはじめにぶつかる疑問に答えています。また、ぼかしやにじみなどの基本的描法について、ていねいに図説しました。バックの描き方、色の重ね方など、どう描けばどういう効果があるかがよくわかり、日頃の制作にすぐに役立ちます。【この本で紹介する内容】・水彩画の用具・色をつくる・水彩を生かす 基本的な描法・作例1.かぼちゃ・作例2.りんごとバナナ・作例3.温室のある風景・作例4.友達の横顔・作例5.花・初心者のためのAnswer & Question・用具のあとかたづけ・技法の応用編【電子書籍版についてのご注意】この電子書籍は固定レイアウトで制作しています。タブレットなど大きな画面で読むのに適しています。文字列のハイライト、検索、辞書の参照、引用などの機能が使用できません。お使いの端末によって見え方が異なりますので、ご購入前に無料サンプルでご確認ください。この電子書籍は印刷出版した底本にもとづいて制作しました。記載されている情報は印刷出版当時のものです。

Sort review

From the Back Cover One day in 1965 the five-year old Robert Elms fell in love with clothes. His brother had just returned to the family's Burnt Oak home in a new suit he'd picked up from his North London tailor. Otis Redding was laying in the front room. This, Elms realized, was what you grew up for. This is the story of a life's obsession. From ben Sherman shirts to boxtop loafers, from bondage trousers to Comme des Gacons, Elms has been there, bought it and worn it. It's about why you'd rather not go out at all than go out in the wrong sort of brogues, and why you just had to have a Budgie Jacket to cut it in the playground in 1970. It is also touching, passionate social history of London street fashion; a fond memoir of working-class lads in tumultuous times and leary schmutter. 'Think of this terrific book as The Rotter's Club of schmutter and you won't be too wide of the mark' - Daily Mail 'Incisive, obsessive, confessional and quite brilliant' - Observer 'provocative, charming and fiercely proud' - Daily Telegraph 'insightful and passionate... as stylish and witty as the finery it obsesses over' - The Independent On Sunday 'highly entertaining... a must read for anyone interested in fashion' - Sunday Express 'Elms's opinionated stances are half the fun of this book' - Sunday Times 'taps into an energy that helped shape post-war Britain' - Mail On Sunday 'a hymn to the burning desire of young men to look right and look smart' - Evening Standard -- This text refers to an out of print or unavailable edition of

this title. About the Author Robert Elms is an award-winning journalist, broadcaster and author. He writes regularly for the national press and has a daily show on BBC London 94.9. He lives in Camden Town. --This text refers to an out of print or unavailable edition of this title.

[*Download to continue reading...*](#)

What people say about this book

やまなずみ, “水彩画のアウトラインをつかめる良書. 特に、大人の方が、これから趣味として絵でも描いてみようかというときに、水彩画というのはどういうものであるか、ざっくりと知りたいときに読む本としては、割とお薦めだと思います。画材の説明では、他の入門書が具体的なメーカーや製品名で説明しているのにたいして、この本では（見れば分かるのですが）メーカーの比較などはやってないので、用語の基本的な意味などに重点を置いた解説といえるでしょう。また、透明水彩とガッシュがこの本では両方説明されていて、その絵具の特性や構造、着色したときの違いが分かるように説明されています。そういうことから、専門的により深くと言うより、多くの事項を軽く網羅的に紹介していこうという水彩画の入り口を提示しているように感じました。技法としては、一般的な事項をほぼ掲載されており、彩色例として主に静物を題材にされています。画材・技法・混色・着色と淡々と解説が進んでいき、無理なく、ごく自然に入っていきける難易度の文章や挿絵の量。特徴的に何かがよいという本ではないのですが、入門書としては良くまとまっていて、これ一冊で水彩画というものが、大まかに何であるかを把握できると思いました。”

正直, “基礎の基、これこそ習うべき本質. 10年経っても初心者を名乗り、その通りに何も知らない人もいるけれど、きっとその人たちはこの本に出会っていなかったからだと思います。色はどうやって作るのかから始まり、初心者に必要な情報を適切な案配で教えてくれます。「初心者」に必要な欠くべからずのレッスンで、過度なテクニックや余計とも思われる情報はありません。奥行きや背景の表現は特に参考になりました。オールカラーではありませんが、その分 メリハリもあります。有名画家の作風に惹かれて、入門書を選ぶのもたいへん良いことと思いますが、その前の段階の人はこの本から学ぶべきでしょう。”

こころ, “気軽に記入等出来て便利. 絵画を習い始めて、紹介された本。基本的なことが学べた。図書館で借りて見ていたが、購入の中古本で気軽に記入等出来て便利。”

Ebook Tops カスタマー, “水彩の基本が良く分かる. 水彩の基本が良く分かり絵を描くのが楽しくなった。購入して良かった。”

[DMCA](#)